

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010100	事業の種類	5
年度	29	事務事業名	芸術文化振興補助金事業	予算事業名	文化振興補助金事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美 担当者名 勝山 護
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体			
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	補助金	円	264000	264000	264000	264000
	芸術文化活動助成金	円	789000	900000	500000	1000000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.028	0.056	200	0.056	100	0.080	143	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	554,750	770,386	139	803,320	104	977,672	122	
	事業費	1,053,000	1,164,000	111	764,000	66	1,264,000	165	
	合計	1,607,750	1,934,386	120	1,567,320	81	2,241,672	143	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,607,750	1,934,386	120	1,567,320	81	2,241,672	143	
合計	1,607,750	1,934,386	120	1,567,320	81	2,241,672	143		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1000	1000	100.0	1200	120.0	1200	100.0	
	実績	935	1134	121.3	1162	102.5			
指標名2		芸術文化活動助成団体							
指標説明(式)		団体数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
数	目標	6	10	166.7	10	100.0	10	100.0	
	実績	4	9	225.0	5	55.6			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1990	2020	101.5	1900	94.1	1700	89.5	
	実績	1719	1705	99.2	1325	77.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める	4
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	4

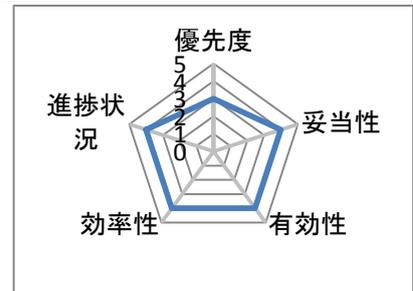
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各々の団体の活動に対して、検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業 優先度		3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	坂本 浩宣	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		市民文化活動を振興する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	補助金	円	0	0	0	60000	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.024	0.018	75	0.016	89	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	524,822	484,056	92	494,600	102	469,128	95	
	事業費	0	0	-	0	-	60,000	-	
	合計	524,822	484,056	92	494,600	102	529,128	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	524,822	484,056	92	494,600	102	529,128	107	
合計	524,822	484,056	92	494,600	102	529,128	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

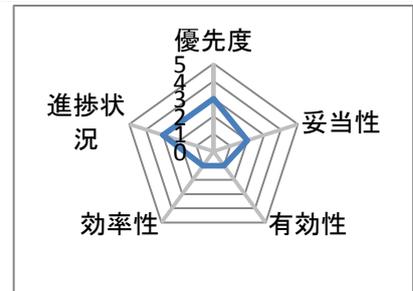
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	近年の補助金交付実績無し。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	補助金交付対象となり得る者の把握に努め、事業の周知に努める。

配点	32.5
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010300		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	勝山 護
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)					
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	文化芸術顕彰授与	件	0	0	0	2	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.012	0.004	33	0.004	100	0.008	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	435,038	378,566	87	401,984	106	405,560	101	
	事業費	0		-	149,800	-	223,000	149	
	合計	435,038	378,566	87	551,784	146	628,560	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	435,038	378,566	87	551,784	146	628,560	114	
合計	435,038	378,566	87	551,784	146	628,560	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数							
指標説明(式)		人数(団体数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	12	6	50.0	4	66.7	4	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	33517	62979	187.9	98548	156.5	157140	159.5	
	実績	0	0	-	0	-			

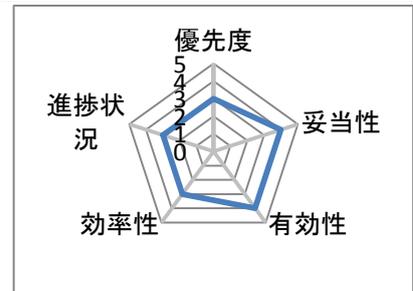
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される	4
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5	
年度	29	事務事業名	中学生ペーロン推進事業		予算事業名	中学生ペーロン推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松本秀文	担当者名	岡部一成
取組み事項		文化事業を実施する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生					
	誰(何)を対象として	中学生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐくむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	中学生参加者数	人	216	200	180	200

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	405,110	408,706	101	432,856	106	405,560	94	
	事業費	550,000	550,000	100	550,000	100	550,000	100	
	合計	955,110	958,706	100	982,856	103	955,560	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	955,110	958,706	100	982,856	103	955,560	97	
合計	955,110	958,706	100	982,856	103	955,560	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数							
指標説明(式)		中学生参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	216	200	92.6	200	100.0	200	100.0	
	実績	216	200	92.6	180	90.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

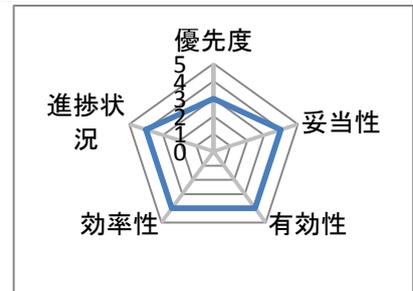
指標名1		参加者(中学生)ひとり当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷参加中学生							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2546	2750	108.0	2750	100.0	2750	100.0	
	実績	2546	2750	108.0	3055	111.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ペーロンの後継者を作るという点で大変意義がある。	4
効率性	手段の最適性	平日開催であるため、指導員を集めるのに苦勞を要する。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り達成できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	小学校の体験乗船でも往復600mのレースを行っているが、市内の中学生ペーロンでは、片道300mのレースしか行えていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	往復600mのレースを実施するよう教育委員会に要望していく。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課	
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名 勝山 護
取組み事項		文化事業を実施する			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	芸術文化活動					
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	文化祭	事業	16	15	17	18
	美術展	回数	1	1	1	1

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.728	0.620	85	0.620	100	0.620	100	
	臨時職員	0.112	0.016	14	0.016	100	0.016	100	
支出内訳	人件費	6,074,278	5,061,838	83	5,198,416	103	5,313,984	102	
	事業費	2,726,930	2,622,640	96	2,606,220	99	2,640,000	101	
	合計	8,801,208	7,684,478	87	7,804,636	102	7,953,984	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,801,208	7,684,478	87	7,804,636	102	7,953,984	102	
合計	8,801,208	7,684,478	87	7,804,636	102	7,953,984	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
実績	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	3771	4134	109.6	3820	92.4			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
点数	目標	250	250	100.0	250	100.0	250	100.0	
	実績	269	288	107.1	250	86.8			

【効率性】

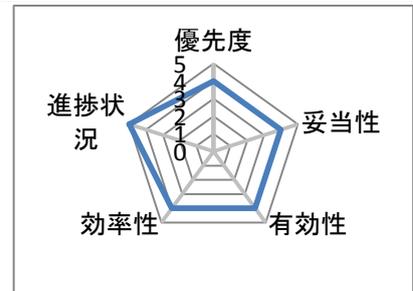
指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	685	660	96.4	660	100.0	660	100.0	
	実績	723	634	87.7	682	107.6			
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10960	10560	96.4	10560	100.0	10560	100.0	
	実績	10137	9106	89.8	10424	114.5			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
効率性	手段の最適性	委託事業という効率的な手法	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館係とも協力していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるように見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030300	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業	予算事業名	相生市文化会館管理運営事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		文化施設の充実を図る		担当者名	池内 義明
実施計画事業名		文化施設への記載		無	主要事業の指定
		文化会館維持管理事業		無	
		文化会館更新事業			
根拠法規及び関連法規		相生市文化会館の設置及び管理に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民			
	誰(何)を対象として	全市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	利用件数	件	-	2667	2745	2800
	利用者数	人	-	179042	163745	180000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.036	2.324	224	2.371	102	2.370	100	
	臨時職員	0.668	2.033	304	2.018	99	2.020	100	
支出内訳	人件費	9,779,298	23,159,797	237	23,985,902	104	24,914,852	104	
	事業費	12,135,967	71,529,948	589	65,677,452	92	66,520,000	101	
	合計	21,915,265	94,689,745	432	89,663,354	95	91,434,852	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	21,915,265	94,689,745	432	89,663,354	95	91,434,852	102	
合計	21,915,265	94,689,745	432	89,663,354	95	91,434,852	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化会館利用状況							
指標説明(式)		文化会館利用人員							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	100000	-	180000	180.0	180000	100.0	
	実績	-	179042	-	163745	91.5			
指標名2		利用者1人あたりのコスト							
指標説明(式)		支出合計/利用者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	1048	-	511	48.8	508	99.4	
	実績	-	529	-	548	103.6			

【効率性】

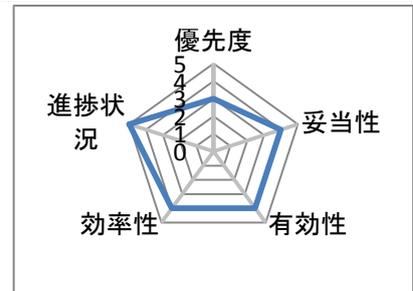
指標名1		文化会館管理事業費							
指標説明(式)		文化会館管理事業費総額							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	80087000	-	66834000	83.5	66520000	99.5	
	実績	12135967	71529948	589.4	65677452	91.8			
指標名2		会議開催数							
指標説明(式)		運営審議会の開催件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	1	50.0	1	100.0	2	200.0	
	実績	2	1	50.0	2	200.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	総利用者数において、目標値には満たなかったが、平成28年度と比較するとオープニングイベントを除いた利用者数は同等となった。	4
	市民サービス	事業への参加や鑑賞する機会を提供することができた。	
効率性	コストの節減	早期にランニングコストの実情を把握し、節減に向けた見直しに努めていく。	4
	手段の最適性	費用対効果を念頭に置きながらも、利用者、来館者にとって最善の管理運営方法を選択した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会をはじめとする市民の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	事業参加や鑑賞の提供にあたり、PRが行き届かないことがあった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	企画委員をはじめとする市民とともに効率的な周知方法の検討をしていく。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	文化財運営事業	予算事業名	文化財事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	文化財					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	9
	歴史講座の実施		23	24	24	24
	史跡めぐりの実施		12	9	11	9
	古文書講座		11	11	12	11

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
	臨時職員	0.208	0.135	65	0.213	158	0.212	100	
支出内訳	人件費	2,664,886	2,508,771	94	2,784,474	111	2,851,536	102	
	事業費	1,358,688	1,389,972	102	1,678,561	121	1,977,000	118	
	合計	4,023,574	3,898,743	97	4,463,035	114	4,828,536	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,023,574	3,898,743	97	4,463,035	114	4,828,536	108	
合計	4,023,574	3,898,743	97	4,463,035	114	4,828,536	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		志願者数(個人情報)の増加が期待される。							
指標説明(式)		35人(1ヶ月平均)×12ヶ月=420名							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		歴史講座及び史跡めぐりの開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	46	44	95.7	47	106.8	44	93.6	
	実績	46	44	95.7	47	106.8			

【効率性】

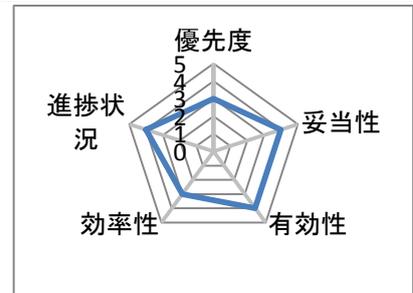
指標名1		人口1人当たりの文化財関連経費							
指標説明(式)		文化財関連事業費(人件費を除く)÷相生市の人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	50	45	90.0	45	100.0	66	146.7	
	実績	44	46	104.5	56	121.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている	4
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていくか。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	史跡パンフレットや歴史講座、史跡めぐりなどの資料館事業をとおして、市民に市内に残る文化財のPRを行って生きたい。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040300	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	資料館管理事業	予算事業名	資料館管理事業
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	番匠 真由美
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無
実施計画事業名		資料館維持管理事業		担当者名	桑本 健一
根拠法規及び関連法規		相生市立歴史民俗資料館条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	歴史民俗資料館			
	意図(どのような状態にしたいのか)	郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	資料館管理事業(特別展の開催)	回	2	2	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.350	0.326	93	0.346	106	0.350	101	
	臨時職員	0.522	0.284	54	0.520	183	0.568	109	
支出内訳	人件費	4,278,872	3,545,224	83	4,411,220	124	4,737,348	107	
	事業費	2,431,115	3,670,832	151	2,064,357	56	2,977,000	144	
	合計	6,709,987	7,216,056	108	6,475,577	90	7,714,348	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,709,987	7,216,056	108	6,475,577	90	7,714,348	119	
合計	6,709,987	7,216,056	108	6,475,577	90	7,714,348	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況							
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	69	113	163.8	103	91.2			
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数							
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	113	107	94.7	99	92.5			

【効率性】

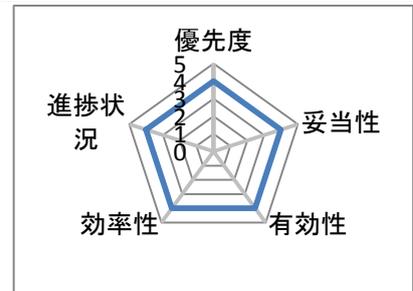
指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費(人件費を除く)÷入館者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2300	4900	213.0	3000	61.2	2480	82.7	
	実績	1798	2868	159.5	1741	60.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	手段の最適性	資料館活性化サポート事業により特別展、資料館資料の収集・公開を行い、資料館次号の充実に努めた。また、文化会館の展示スペースを使って、資料館資料の公開を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	寄贈を受けた貴重な資料や資料館活性化サポート事業で収集を行った資料を展示することで資料の有効活用を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続き資料館の展示物の入替や特別展の実施をするとともに、歴史講座等の市民参加型の事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401050100		事業の種類	4				
年度	29	事務事業名	国際交流事業		予算事業名	国際交流事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	企画総務部企画広報課				
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	松尾 次郎		担当者名	岩田 智美	
取組み事項		多文化共生を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民								
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	スピーチ大会	人	28	-	-	-	
	食文化交流会	人	44	23	21	-	
	市民交流会	人	48	53	37	-	
	日本語教室(延べ人数)	人	410	865	507	-	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.128	0.176	138	0.176	100	0.180	102	
	臨時職員	0.008		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,323,102	1,674,586	127	1,729,480	103	1,772,272	102	
	事業費	300,000	250,000	83	250,000	100	250,000	100	
	合計	1,623,102	1,924,586	119	1,979,480	103	2,022,272	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,623,102	1,924,586	119	1,979,480	103	2,022,272	102	
合計	1,623,102	1,924,586	119	1,979,480	103	2,022,272	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業								
指標説明(式)		事業数								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
事業	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0		
	実績	5	6	120.0	6	100.0				
指標名2		国際交流事業参加者数								
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数(延べ人数)								
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	475	550	115.8	555	100.9	555	100.0		
	実績	530	941	177.5	565	60.0				

【効率性】

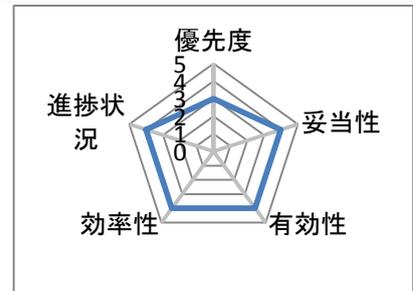
指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,417	2,898	84.8	3,286	113.4	3,644	110.9	
	実績	3,062	2,045	66.8	3,060	149.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進することができた。また、日本語教室を継続して行うことで、生活環境の向上が図れた。	4
	市民サービス	交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	参加者数が減少となり、経費は昨年と比較し増加となったが、例年と比較し大きな増加とはならなかった。	4
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。また、参加者の幅も広がっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	外国人のニーズが多様化しているため、対応が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	支援ボランティアの高齢化が進み、人員も不足しているため、国際交流事業全体を広く周知する。

配点	32.5
総合評価	24